



地域研究集会

第30回熊野灘の漁業を考える

2017年に始まった黒潮大蛇行による三重県漁業への影響と今後の適応策の検討

日時：2023年2月25日（土）13:20～17:00（受付12:50～）

場所：三重県伊勢庁舎4階401会議室（伊勢市勢田町628番地2）

コンピーナー：伊藤宣毅（考える会）、山川卓（東大院農）、藤田弘一、青木秀夫、阿部文彦（三重水研）

共催：熊野灘漁業を考える会、三重県水産研究所

後援：三重県漁業協同組合連合会

問合せ先：三重県水産研究所 阿部・青木 Tel.：0599(53)0016; E-mail: suigi@pref.mie.lg.jp

- | | | |
|----------------------------------|--|-------------|
| 1. 挨拶 | ：笠井亮秀（一般社団法人水産海洋学会副会長）
伊藤宣毅（考える会代表） | 13：20～13：30 |
| 2. 趣旨説明 | ：藤田弘一（三重水研） | 13：30～13：40 |
| 3. 話題提供 | | |
| | 座長：土橋靖史（三重県水産資源管理課） | |
| (1) 総論「黒潮大蛇行と熊野灘の漁海況」 | 久野正博（三重水研） | 13：40～14：15 |
| (2) カツオ漁業「熊野灘の浮魚礁におけるカツオ漁況と黒潮流路」 | 丸山拓也（三重水研） | 14：15～14：35 |
| (3) 磯根資源「黒潮大蛇行と磯根資源の現状」 | 田中翔稀（三重水研） | 14：35～14：55 |
| (休憩) | | 14：55～15：10 |
| | 座長：津本欣吾（三重県水産振興事業団） | |
| (4) 藻類養殖業「黒ノリ養殖への影響と適応策の検討」 | 岩出将英（三重水研） | 15：10～15：30 |
| (5) 真珠養殖業「真珠養殖業への影響と適応策の検討」 | 奥村宏征（三重水研） | 15：30～15：50 |
| (6) 魚類養殖業「黒潮大蛇行が魚類養殖に与える影響」 | 宮本敦史（三重水研） | 15：50～16：10 |
| 4. 総合討論 | | |
| | 座長：山川卓（東大院農）、青木秀夫（三重水研）、栗藤和治（考える会） | 16：10～17：00 |

開催趣旨：熊野灘の漁業や養殖業には、沖合を流去する黒潮の流路変動の影響を常に受け続け、物理・生物環境の変化に対して様々な工夫と対応がされてきた歴史がある。2017年8月から始まった黒潮大蛇行は、発生から5年以上を経過し、現在も解消の兆候が見られない。この大蛇行の継続期間は、蛇行の判定に十分な記録の残る1965年以降で最長となっている。長期化する黒潮大蛇行の下で熊野灘の三重県沿岸域は過去に例を見ない高水温傾向が続き、そこを漁場とする各種の漁業や養殖業は一時的な対応ではなく、変化した環境下での適応を求められている。本研究集会では、今回の黒潮大蛇行の発生以降に県内の様々な漁業で生じた特異的な現象と漁場環境との関係を検証・整理して漁業関係者等と情報共有を図るとともに、今後、漁業側が採り得る適応策を討議する場としたい。